

「心のバリアフリー」への私見

東洋大学人間科学総合研究所 客員研究員
川内美彦

「ユニバーサルデザイン2020行動計画」

すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし支え合う
共生社会を目指している

共生社会を実現するために・・・

- 心のバリアフリー
- ユニバーサルデザインの街づくり

前提は「人権や尊厳を大切に」

「心のバリアフリー」という言葉から連想する言葉は？

「やさしさ」…… 67.1%

「思いやり」…… 65.7%

「権利」…… 32.0%

「尊厳」…… 19.0%

「心のバリアフリー」という言葉から「人権や尊厳」を連想する人は少ない。

「人権」や「尊厳」は、周りがやさしくなくても、思いやりがなくても実現されるべきもの。

「心のバリアフリー」は「やさしさ」や「思いやり」を連想させるが、「人権」や「尊厳」は連想しづらい

「心のバリアフリー」で「人権」や「尊厳」を目指すのは不適切ではないか。

「やさしさ」や「思いやり」は人間として必要なもの。

しかし「やさしさ」や「思いやり」によって平等な社会参加が実現すると考えてはならない

平等な社会参加という基盤があるうえで、その質を高めていくのに「やさしさ」や「思いやり」が重要。

- 「心のバリアフリー」という言葉は「やさしさ」や「思いやり」に流れてしまうという傾向がある
- 「やさしさ」や「思いやり」と「人権」や「尊厳」は混同してはならない
- 本来の目的は「お互いの人権や尊厳を大切にし支え合う共生社会」を目指すことを確認したい

以上です。
ありがとうございました。